

1992-93年度国際ロータリーのテーマ



まことの幸福は人助けから



Real Happiness is Helping Others

- 国際ロータリー会長 クリフ・ダクターマン ●第2560地区ガバナー 栗山 清
- 会長——内山辰策 ●副会長——上木六治
- 幹事——榎本 勝 ●副幹事——五十嵐総一
- SAA——渋谷正一 ●副SAA——松谷昊吉 ●例会日——毎週水曜日 12:30～
- 例会場——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内 TEL 34-3311
- 事務局——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内 TEL 35-3477
FAX 32-7095

出席者会員数

会員 76名中 56名

先々週出席率

85.88% (前年同期 81.43%)

今日のお花

カスミ草、ストック、赤カーネーション

ヴィジター

三条北より 本間建雄美さん、笹原勝治さん、吉川吉彦さん

先週のメイクアップ

11/19 新潟へ 五十嵐晋三さん

11/24 三条北へ 池田千秋さん、古沢富雄さん、鈴木宗資さん、
山浦日出夫さん、石橋育於さん、細井増雄さん、
齋藤弘文さん、関本哲秀さん、近藤雄介さん、
小越憲泰さん、阿部武美さん、加藤紋次郎さん

会長挨拶 内山(辰)会長

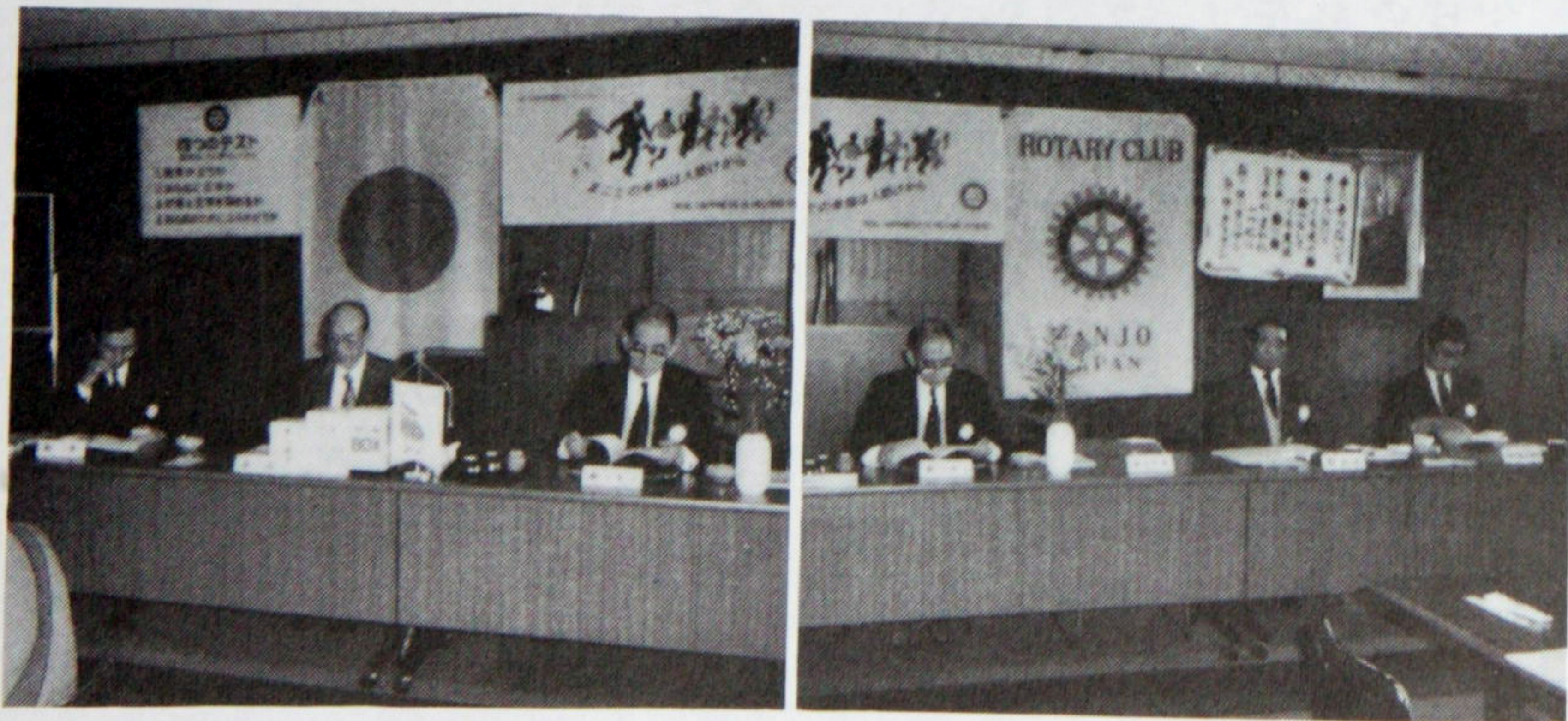
今日は北クラブからお三人をお迎えしております。ようこそおいで下さいました。いよいよ12月9日がガバナー公式訪問でございます。今日と12月2日は例会をクラブアッセンブリーに変えさせていただきます。ご協力をお願い致します。

昨日国際奉仕の委員と親睦委員の方と10名程集まりまして、国際親善という意味を含めまして中国の研修生の歓迎パーティーを開こうということになりました。当然親睦委員会の御協力も頂かなければできないものですから、忘年会も合わせて12月16日にやろうということになりました。詳しくは親睦委員会の方より連絡があるとは思いますが、宜しくお願い致します。

いよいよこれからアッセンブリーに入りますが、いろいろ承っておりますことに依りますと、ガバナーが訪問される時には、出席率100%を出すことが何よりものお礼だということを知っておりますので、当日都合の付かない人は事前でも事後でも構いませんので、メイク・アップをして、どうぞ100%になるようにお願い致します。

月誌資料編というものがまいてありますが、6月30日現在ですが、出席率は91.92%でして、82クラブ中60位でございます。当クラブとしてはもう少し上がっても良いのではないかと考えております。それからもう一つ財団でございますが、これは新潟県下では第四位でございます。地区でみますと17位でございます。米山奨学金の方も全く同じでして、県下で第四位、地区で17位でございます。大変結構でございます。

会員増強でございますが、当クラブでは純増4名でございます。クラブ全体でみますと16位でございます。クラブ順位でございますが、ご承知のように県内では7番目にできたクラブでございます。地区全体でみますと13番目でございます。それからスポンサークラブとしては6クラブのスポンサーになっておりまして、私が見ますところでは地区一番ではないかと考えております。



幹事報告 榎本幹事

◎例会変更のお知らせ!

燕RC 12月17日(木) クリスマス家族パーティー PM6:00~於明治屋新館
12月31日(木) 年末大みそかの為休会

12月のお祝い

- ◎会員誕生祝 4日 上木六治さん 10日 広岡豊作さん 12日 鈴木宗資さん
16日 小林九満太さん 24日 高橋政志さん
- ◎夫人誕生祝 11日 清水節子さん(良一) 18日 萩根沢愛子さん(隆雄)
18日 菊池まゆみさん(渉) 25日 山浦美枝子さん(日出夫)
25日 佐藤成子さん(武)
- ◎結婚記念 4日 渋谷健一さん 12日 内山辰策さん
- ◎100%出席賞 5年 小林敬典さん

ニコニコBOX ¥14,000 11月25日分

- 榎本さん 先般、自衛隊東部方面総監より、自衛隊業務にいささか協力したとの事で感謝状を頂いて来ました。
- 川口さん 家内の誕生日に美しいお花をいただきまして有難うございました。
- 小林(正)さん きれいなお花を有りがとう御座居ました。今月の初旬にアメリカに行ってきました。楽しい視察が出来ました。
- 長谷川さん 15日~20日まで小笠原群島に魚つりに行ってきました。元気で。
- 内山(辰)さん、平原(信)さん、高橋(一)さん、野村さん
今日も健康で例会に出席することができました。ロータリーの社会奉仕活動に協力してボックスへ。

三条ロータリークラブゴルフ同好会

去る11月4日中条ゴルフ倶楽部「坂額苑」に於て当同好会の総会を開催され、下記の通り会計報告、役員改選、年会費徴収、大会方法について審議決定されました。

新会員にはゴルフ愛好者が多く当会の活発な親睦活動を進めることに大きな期待が寄せられました。翌11月5日(木)は秋晴れの最高のコンディションの中で第五回大会を開催しました。あまりにも天候が良過ぎた為……でもないのかもしれませんが成績は「いまいち」だったようです。次回よりハンディー戦になりますのでより一層の親睦プレーが出来ますよう念願しております。

I 総会議事録

1. 会計報告の件 別紙収支報告書の通り承認。
2. 役員改選の件 下記の通り選任承認。

会 長	杉 野 奎 司	幹 事	五十嵐 力
副 会 長	斎 藤 弘 文	幹 事	丸 山 行 彦
幹 事	外 山 一 郎	幹 事 長	加 藤 紋 次 郎
幹 事	石 橋 育 於	会 計 監 査	古 沢 富 雄

3. 年会費徴収の件

(イ) 今年度より年会費¥5,000円を徴収する。

(同好会コンペ費用及び五クラブ合同コンペ、他の補助等に充当する。)

(ロ) 徴収時期平成4年12月末迄に事務局へ

4. その他

(イ) ゴルフコンペ 三条R、Cゴルフ同好会 年2回
五クラブ合同コンペ 年2回

(ロ) 次回大会より同好会ハンディーに依る

ストロークプレー方式で順位を決定する。

尚、ハンディーキャップについては別途協議の上決定する。

II 第5回大会成績(新々ベリア方式)

順位	氏 名	グ ロ ス	HDCP	N E T	
1	佐 藤 武	103	35.2	67.8	N. P賞
2	加 藤 紋 次 郎	86	14.4	71.6	
3	斎 藤 弘 文	91	19.2	71.8	N. P賞
4	松 谷 昊 吉	91	17.6	73.4	
5	杉 野 奎 司	108	33.6	74.4	
6	加 藤 征 男	91	16.0	75.0	
7	丸 山 行 彦	100	22.4	77.6	
8	中 村 和 彦	100	20.8	79.2	
9	五 十 嵐 力	99	19.2	79.8	
9	細 井 増 雄	99	19.2	79.8	
11	石 橋 育 於	107	25.6	81.4	N. P賞
12	佐 野 勝 栄	105	20.8	84.2	N. P賞
13	野 水 文 治	112	27.2	84.8	
BB 14	五 十 嵐 寿 一	115	28.8	86.2	
15	山 田 富 義	118	28.8	89.2	

ロータリー情報委員会より

ロータリー小史(1)

「寒い冬枯れのシカゴで、ロータリーを創立したとき、今日のように隆盛な世界的運動に発展すると考えましたか」とポール・ハリスは生前、しばしばこのような質問を受けたといひます。

これに対する最高の答は、1947年1月27日ポールが亡くなる前に書きあげた。ロータリー創立記念メッセージの中に見られます。そのメッセージの中で彼は次のように書いています。

「1905年には、ロータリーがこのような世界的運動になろうとは予想していなかった。早春のころ、あまり大きくなりそうにない若木を植えるとき、人はいつの日かそれが、亭々たる大木に育つであろうと確信できるだろうか。それは雨と太陽——神の摂理の微笑に待たなければならないのではないか。若葉が初めてもえでるのを見るとき、そのときこそ、人は大いなる木陰を夢みることができるのである」。

ロータリー運動は、1905年2月23日の晩、乱雑に広がったシカゴの街で孤独と疎外感に悩む青年弁護士ポール・ハリスが、かねて温めていたアイデアについて話し合うため、3人の友人と会合したとき生まれました。その3人とは、石炭商のシルベスター・シール、鉱山技師のガスターバスE. ローア、そして、仕立業のハイラム・ショーレーでした。ポール・ハリスとこの3人は、シカゴ市内のユニティ・ビルにあるローア事務所(711号室)で落ち合いました。このユニティ・ビルはシカゴの北ディアボン街127に今なおあります(というのは、ロータリー創立80周年にシカゴ・ロータリー・クラブ会員が事務所を修復し、調度品や事務機の当時の記録を備え付けたからです)。

この会合でポール・ハリスは「実業人が友愛の気持をもって親しみ合い、仕事のうえでの知り合いの輪を広げていくために定期的に集まる会をつくる」というかねてからのアイデアを提案しました。

これについて、4人がいろいろと話し合った結果、一つの職業から1人だけを会員として選んで、男性のクラブをつくることになったのです。このクラブは週に1回、会員の店あるいは事業所を、輪番に会場として開くことに決めました。会場を輪番に使うことにしたのは、会員がお互いの仕事について、よく知ることができるようにするためでした。この輪番にちなんで、クラブの名称を「ロータリー」としたのです。

ロータリー小史(2)

ロータリー創立にかかわった4人とも、米国人でしたが、それぞれが英国系、ドイツ系、



ロータリーの創始者ポールP. ハリス
(1868~1947年)。

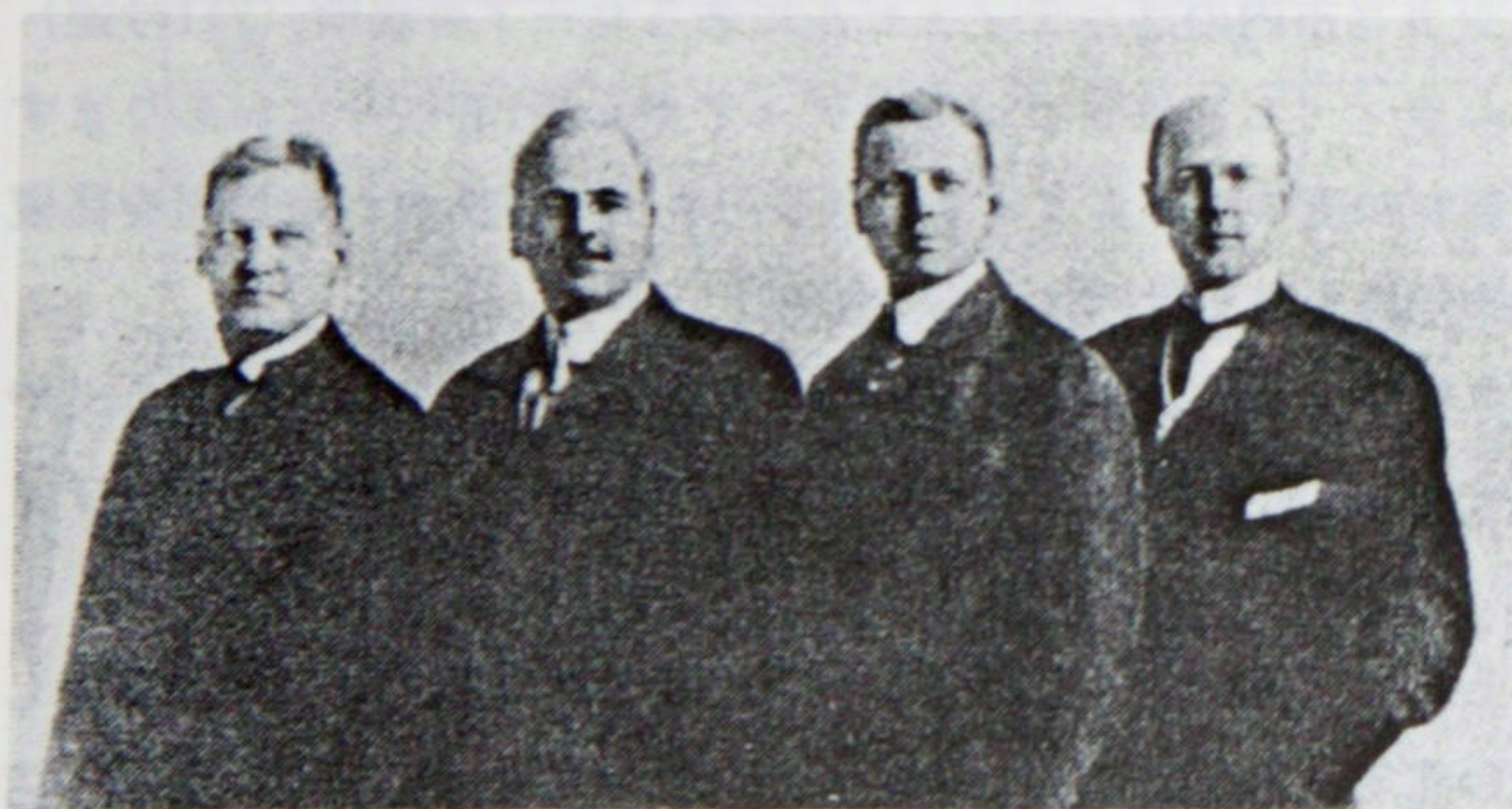
スウェーデン系、そしてアイルランド系の人であり、信仰する宗教もプロテスタント、カトリック、そして、ユダヤ教などまちまちでした。すべては、人種のるつぼと呼ばれる米国の所産であり、その意味では、やがては国際的な運動となる使命をもったこのクラブの創立会員にふさわしい顔ぶれであったというべきでしょう。

印刷業のハリー・ラッグルズが、第5番目の会員として入会したあと、このグループは、シカゴ・ロータリー・クラブとして、正式に発足しました。同クラブの最初の会員名簿(1905年作成)には、30人の会員が記されており、会長がシルベスター・シール、それに不動産業のウィリアム・ジェンセンが幹事、ハリー・ラッグルズが会計ということになっています。そのほか歯科医のウィリアム R. ネフが会合の「進行係」でした。このときポール・ハリス自身は、この新クラブではどんな役職につくことも辞退し、2年後に初めて会長になっています。会合のときに歌をみんなで歌う習慣をつくったのは、ハリー・ラッグルズであり、これは今も多くのクラブで引き継がれています。

このような、新しいクラブができたというニュースは急速に広がり、会員数もふくれあがって、会員の事業所で会合を開くことができなほどになりました。そこで、毎週の例会は、レストランやホテルで開かれるようになっていきました。

ポール・ハリスは、シカゴ・ロータリー・クラブを、単に会員同士の商売や、事業の便宜をはかるためだけのものにする気持はありませんでした。会員同士の親睦を重くみる一方、クラブとして、何か地域社会のために役立つ活動をしたいという希望を、始めからもっていたのです。そして、クラブ創立後2年たった1907年に、クラブ最初の社会奉仕プロジェクトが行われました。公衆便所が一つもなかったシカゴ市役所の近くに、初めてつくったのです。

シカゴ・ロータリー・クラブ創立の3年後には、2番目のロータリー・クラブがカリフォルニア州サンフランシスコ



ロータリーの最初の4人。左からガスターバス、E. ローア、シルベスター・シール、ハイラム E. ショーレー、ポール P. ハリス。

ルニア州サンフランシスコに結成され、その翌年には、新たに三つのクラブが結成されました。そして、全米の都市にあいついでロータリー・クラブがつくられ、1910年には、全米のロータリー・クラブ総数は16、会員数は合計1,500人に達するまでになったのです。

(つづく)

12月2日例会 クラブアッセンブリー

12月9日例会 ガバナー公式訪問

12月16日例会 忘年クリスマス懇親例会 PM6:00～ 於VIP
